

ふるさとおもしろ統計学

世帯人員

「1人暮らし」1番多く

「日本では、何人暮らしの世帯が1番多いでしょうか」と問われたら、皆さん何と答えますか。正解は「1人暮らし」の世帯です。

平成7年の国勢調査によると、全国の4,390万世帯のうち、1人世帯が1,124万世帯(25.6%)で最も多く、以下、2人世帯(1,008万世帯、23.0%)、4人世帯(828万世帯、18.9%)、3人世帯(813万世帯、18.5%)と続きます。

平成2年の国勢調査と比べると、1人世帯の数は19.7%、2人世帯は20.4%増加したのに対し、4人以上の世帯はいずれも減少しています。

1世帯当たりの人員が、平成2年調査では2.99人でしたが、平成7年調査では2.82人に減っており、世帯の規模が小さくなっていることがわかります。

次に、本県では、何人暮らしの世帯が1番多いでしょうか。正解は「4人暮らし」です。

平成7年の国勢調査によると、4人世帯が20.8%を占めて最も多くなっています。とは言っても、1人、2人、3人の各世帯の割合はいずれも20%前後であり、4人世帯の割合と大きな差は

ありません。

本県では、1世帯当たりの人員が、昭和35年ごろまでは5人を超えていましたが、その後急激に減り続け、平成7年調査では3.17人になっています。

今後、世帯人員はどのように変動するでしょうか。気にかかるのは65歳以上の1人世帯の増加です。平成7年調査では、65歳以上の1人世帯は全国で220万世帯ありました。これは、平成2年調査と比べて、57万世帯、35.5%も増加しています。

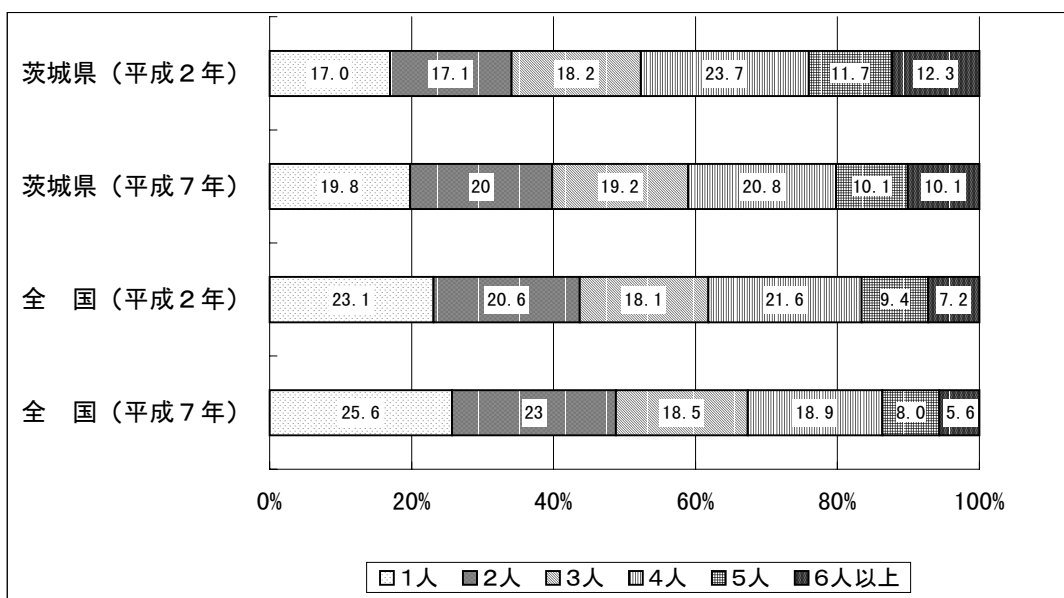
本県においても、平成7年調査では、65歳以上の1人世帯が30,600世帯あり、平成2年調査に比べて8,500世帯、38.4%増加しました。

少子・高齢化が進む中で、高齢者の1人暮らしは、引き続き増加することが予想されます。私たちが豊かな長寿社会をつくるためには、とても気になる数字です。

(県統計課)

平成11年4月23日掲載

世帯人員別割合



※「ふるさとおもしろ統計学」は隔週金曜日、茨城新聞に掲載されています。

東京型から他地域分散型

歌謡曲「ああ上野駅」に歌われたように、中学校卒業者が「金の卵」ともてはやされ、東京に集団就職をしていたのは「今は昔」。現在では、社会・経済状況が大きく変ぼうし、人の移動も大きく様変わりしています。今回は茨城県民の移動状況について、県外への転出者、県外からの転入者に絞ってデータを見てみましょう。

昨年（平成10年）1年の間に本県から県外へ転出した人は、人口の2.4%の73,194人。県外から転入してきた人は2.5%の75,972人と転入超過となっています。転出者を1日あたりに直すと約200人ですから、毎日観光バス4台分の人が県外へ引っ越しをしている計算になります。

行き先の内訳を見てみると、グラフで分かるように、30年前（昭和43年）は「金の卵」も含めて県外へ転出する人の約4割が東京へ出ていましたが、現在では約2割へと半減する一方、関東以外の遠方への引っ越し割合が大きくなっています。

これらの要因としては、企業の全国展開や交通網の整備により東京への通勤、通学圏が広がった

ことなどが挙げられます。ちなみに、現在は常磐線（スーパーひたち）で水戸から上野まで1時間10分ほどですが、30年前に多く利用されていた特急では1時間50分ほどかかったそうです。

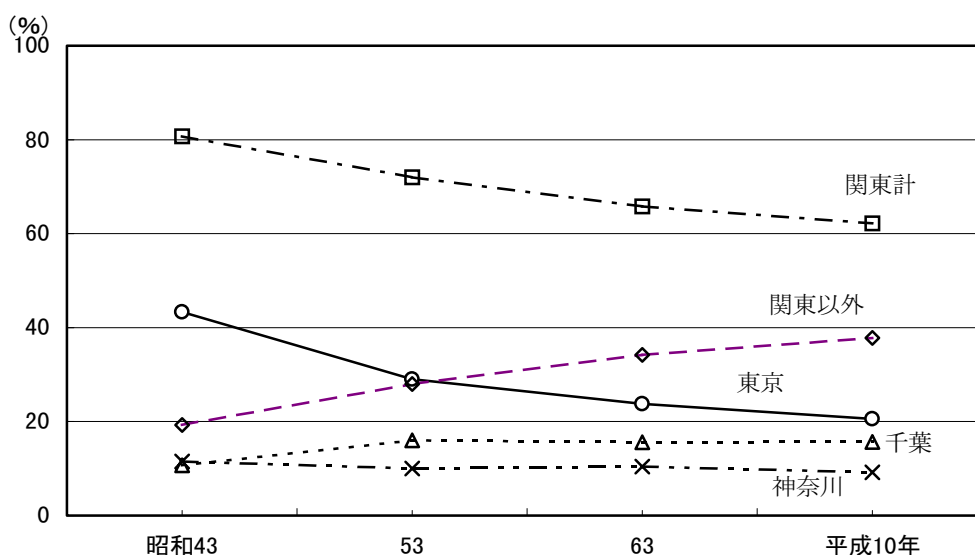
さらには、経済のグローバル化に伴い、国外への移動も近年では珍しくなくなりました。去年は、国外への転出者が約9%（6,764人）、国外からの転入者が約12%（9,153人）を数えています。30年前に国外へ引っ越し方がわずか3人でしたので、まさに隔世の感といったところです。

さて、間もなく300万人を迎えようとしている本県人口ですが、この転入、転出に出生・死亡を加えた数が人口増加数となります。昨年の増加率は年0.34%と、近年の金利を少し上回る程度ですが、これでも全国で3分の1の府県が人口減少に悩む中では立派なもの。1日も早く300万人県へ仲間入りしたいところです。

（県統計課）

平成11年5月28日掲載

県外への転出者割合の推移



県常住人口調査（県統計課）より

※「ふるさとおもしろ統計学」は隔週金曜日、茨城新聞に掲載されています。

この資料は、平成11年5月中に行政情報センターに到着した主なものです。ご利用ください。

行政情報センター 茨城県庁舎3階 TEL 029-301-2152

行政資料名	編集・発行所(者)	行政資料名	編集・発行所(者)
中央省庁関係		茨城県関係	
平成10年労働力調査年報	総務庁統計局	茨城県のすがた '99	統計課
平成10年消費者物価指数年報	〃	平成10年版 茨城県勢要覧	〃
平成9年全国物価統計調査報告 物価価格編	〃	市町村公共施設の現況 平成10年3月31日現在	地方課
平成9年全国物価統計調査報告 消費者物価地域差指数編	〃	平成9年度 国民健康保険事業状況	厚生指導課
明日への統計 '99	総務庁統計局 統計調査部	平成9年度 大気環境測定結果	環境対策課
平成9年度 統計基準年報	総務庁統計局 統計基準部	平成10年度 政策研究提言集	自治研修所
平成10年版 運輸経済統計要覧	運輸省運輸政策 局情報管理部	平成10年度 学校保健・学校安全統計資料	教育庁 保健体育課
平成9年 第4回企業活動基本調査報告書	関東通商 産 業 局	平成11年度 学校教育指導方針	県教育委員会
平成9年 農業経営動向統計	農林水産省 統計情報部		

編集後記

本を作っていると、とかく担当者の自己満足に陥りがちです。どうか「統計いばらき」に対する御意見・御感想をお寄せください。

統計いばらき

1999.7 No. 542

平成11年7月発行

編集兼発行／茨城県企画部統計課

茨城県統計協会

〒310-8555 水戸市笠原町 978-6

電話 029-301-2637

FAX 029-301-2669

印刷所／株式会社トキワコーポレーション